

2015 事業計画 (FY2015～2017)

ベル・エンジニアリング株式会社

～100年企業になる為に～
2020年に向けての考察

2016年3月25日

目 次

1. 全体イメージ

『有限のフィールドから無限のフィールドへ』

2. 個別イメージ

3. 基本方針

4. 経営数値目標

4-1. 過年度分析

4-2. 事業計画目標値

5. セグメント別施策

5-1. セグメント割合の到達目標

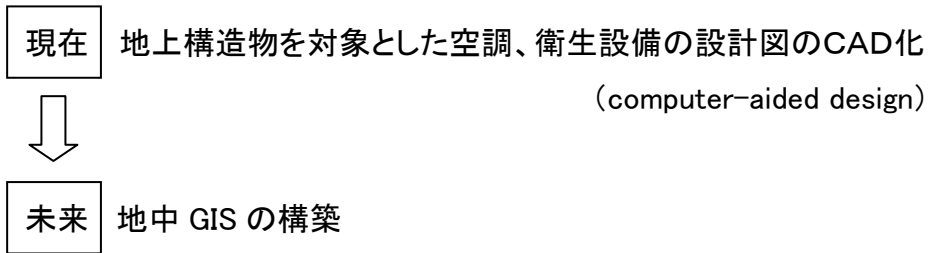
5-2. セグメント別の目標と達成戦略

6. 主要スケジュール

7. 次期事業計画に向けて

1. 全体イメージ

『有限のフィールドから無限のフィールドへ』



ベル・エンジニアリング株式会社の業務範囲

地中GISの構築とは
(Geographic Information System)



空調、衛生設備の設計図のBIM化
(Building Information Modeling)

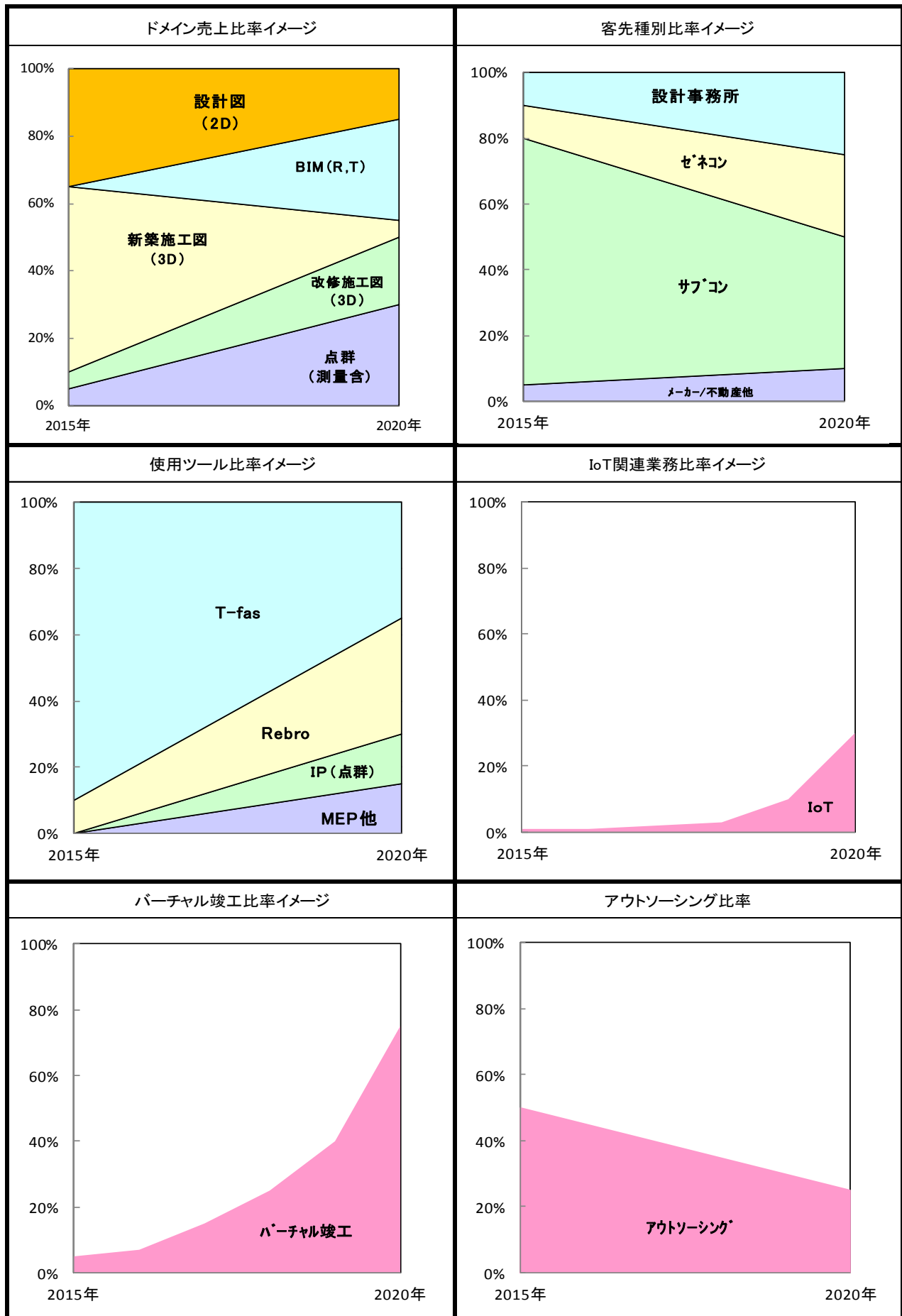


地中インフラのBIM化
(infrastructure)

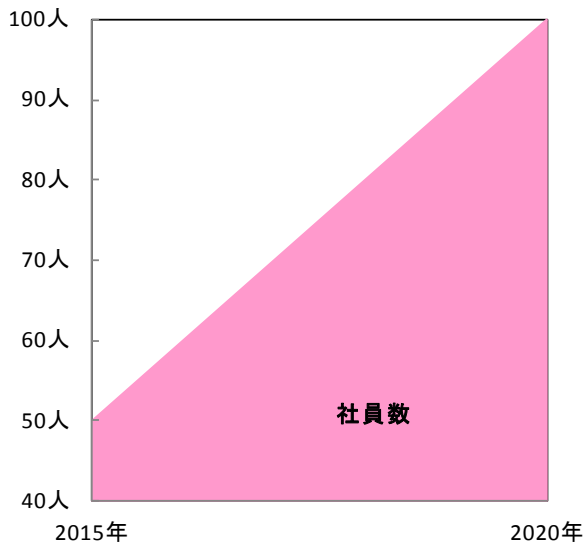


BIMとIoTの融合
(Internet of Things)

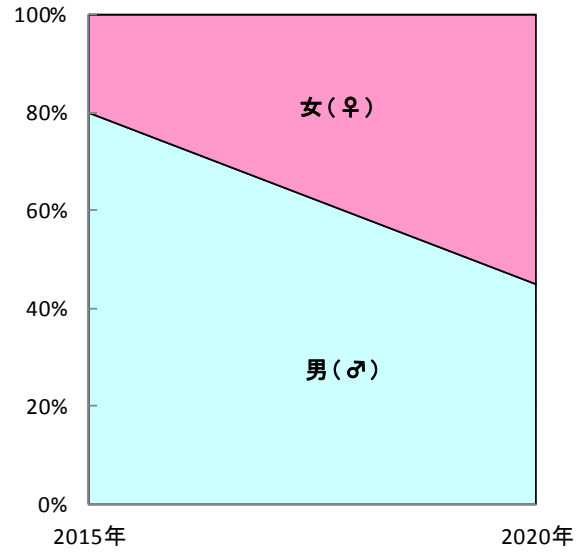
2. 個別イメージ



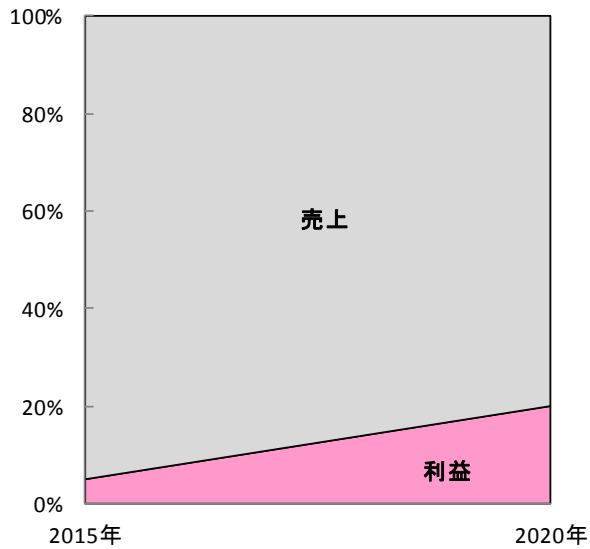
社員数イメージ



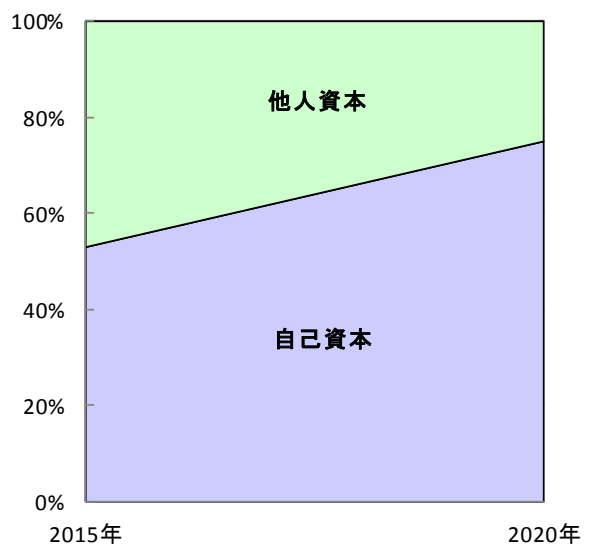
男女比率イメージ



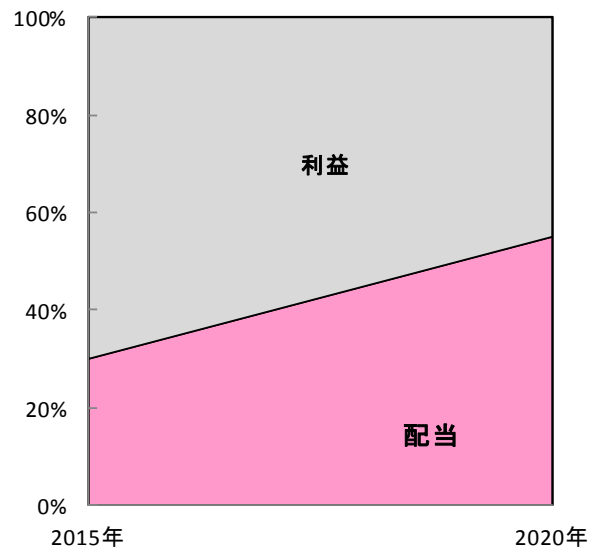
売上対利益イメージ



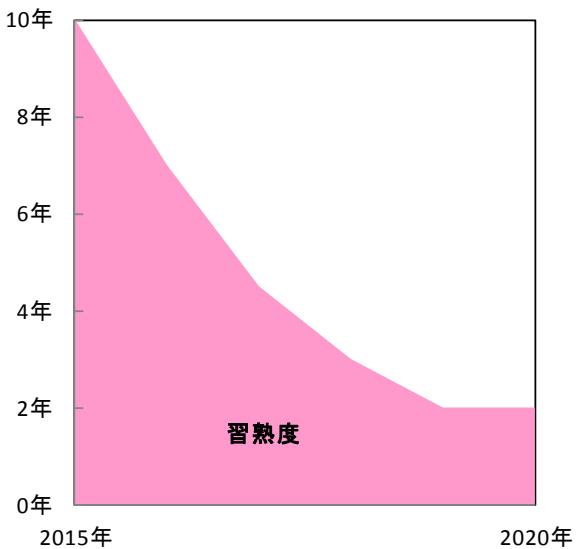
自己資本比率イメージ



利益対配当イメージ



習熟度(生産開始)イメージ



3. 基本方針

数値目標

- 目標1 事業規模の拡大
4億→6億
- 目標2 資本効率の向上
ROA 10%
- 目標3 経営管理制度の整備、運用
IPOに挑戦
(Initial Public Offering)

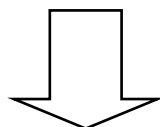
4. 経営数値目標

4-1. 過年度分析

※過去の実績の分析

(単位:千円)

項目	第27期 FY2012年 実績	割合 (%)	第28期 FY2013年 実績	割合 (%)	第29期 FY2014年 実績	割合 (%)
売上	380,878	100%	409,701	100.0%	408,942	100.0%
営業利益	6,594	1.7%	11,576	2.8%	12,354	3.0%
経常利益	7,374	1.9%	12,067	2.9%	13,298	3.3%
当期純利益	5,605	1.5%	7,378	1.8%	9,750	2.4%



※今後の利益割合

項目	割合
売上	100%
営業利益	5%
経常利益	4%
当期純利益	3%

ROA 10% ≒ ROS 4% (売上高経常利益率)

4-2. 事業計画目標値

セグメント別売上予測・利益計画

1. 空調、衛生設備の設計図のBIM化

第30期空調、衛生設備の設計図のBIM化売上につきましては第30期売上予測の71.5%といたしました。
(残り28.5%部分は下記2.現場実務売上としております。)

第31期、第32期は過去実績をもとに売上上昇率をそれぞれ前年に対して108.0%として予測しております。

第30期、第31期、第32期の営業利益割合を売上の5.0%、経常利益割合を売上の4.0%、当期純利益割合を売上の3.0%と予測しております。

(単位:千円)

項目	第30期 FY2015年 予測	割合 (%)	第31期 FY2016年 予測	割合 (%)	第32期 FY2017年 予測	割合 (%)
売上	303,906	100.0%	328,218	100.0%	354,475	100.0%
営業利益	15,195	5.0%	16,411	5.0%	17,724	5.0%
経常利益	12,156	4.0%	13,129	4.0%	14,179	4.0%
当期純利益	9,117	3.0%	9,847	3.0%	10,634	3.0%

2. 現場実務

第30期現場実務売上につきましては第30期売上予測の28.5%といたしました。

第31期、第32期売上は、それぞれ前年に対して106.0%として予測しております。

また、第30期、第31期、第32期営業利益割合を売上の5.0%、経常利益割合を売上の4.0%、当期純利益割合を売上の3.0%と予測しております。

(単位:千円)

項目	第30期 FY2015年 予測	割合 (%)	第31期 FY2016年 予測	割合 (%)	第32期 FY2017年 予測	割合 (%)
売上	121,137	100.0%	128,405	100.0%	136,109	100.0%
営業利益	6,057	5.0%	6,420	5.0%	6,805	5.0%
経常利益	4,845	4.0%	5,136	4.0%	5,444	4.0%
当期純利益	3,634	3.0%	3,852	3.0%	4,083	3.0%

3. 地中インフラのBIM化

第30期より新たな新事業として下記の売上予測・利益計画を予測しております。
第30期、第31期、第32期売上は希望値とし、営業利益割合を売上の5.0%、経常利益割合を売上の4.0%、当期純利益割合を売上の3.0%と予測しております。

(単位:千円)

項目	第30期 FY2015年 予測	割合 (%)	第31期 FY2016年 予測	割合 (%)	第32期 FY2017年 予測	割合 (%)
売上	10,000	100.0%	30,000	100.0%	100,000	100.0%
営業利益	500	5.0%	1,500	5.0%	5,000	5.0%
経常利益	400	4.0%	1,200	4.0%	4,000	4.0%
当期純利益	300	3.0%	900	3.0%	3,000	3.0%

4. IoT関連業務

第30期より新たな新事業として下記の売上予測・利益計画を予測しております。
第30期、第31期、第32期売上は希望値とし、営業利益割合を売上の5.0%、経常利益割合を売上の4.0%、当期純利益割合を売上の3.0%と予測しております。

(単位:千円)

項目	第30期 FY2015年 予測	割合 (%)	第31期 FY2016年 予測	割合 (%)	第32期 FY2017年 予測	割合 (%)
売上	1,000	100.0%	2,000	100.0%	3,000	100.0%
営業利益	50	5.0%	100	5.0%	150	5.0%
経常利益	40	4.0%	80	4.0%	120	4.0%
当期純利益	30	3.0%	60	3.0%	90	3.0%

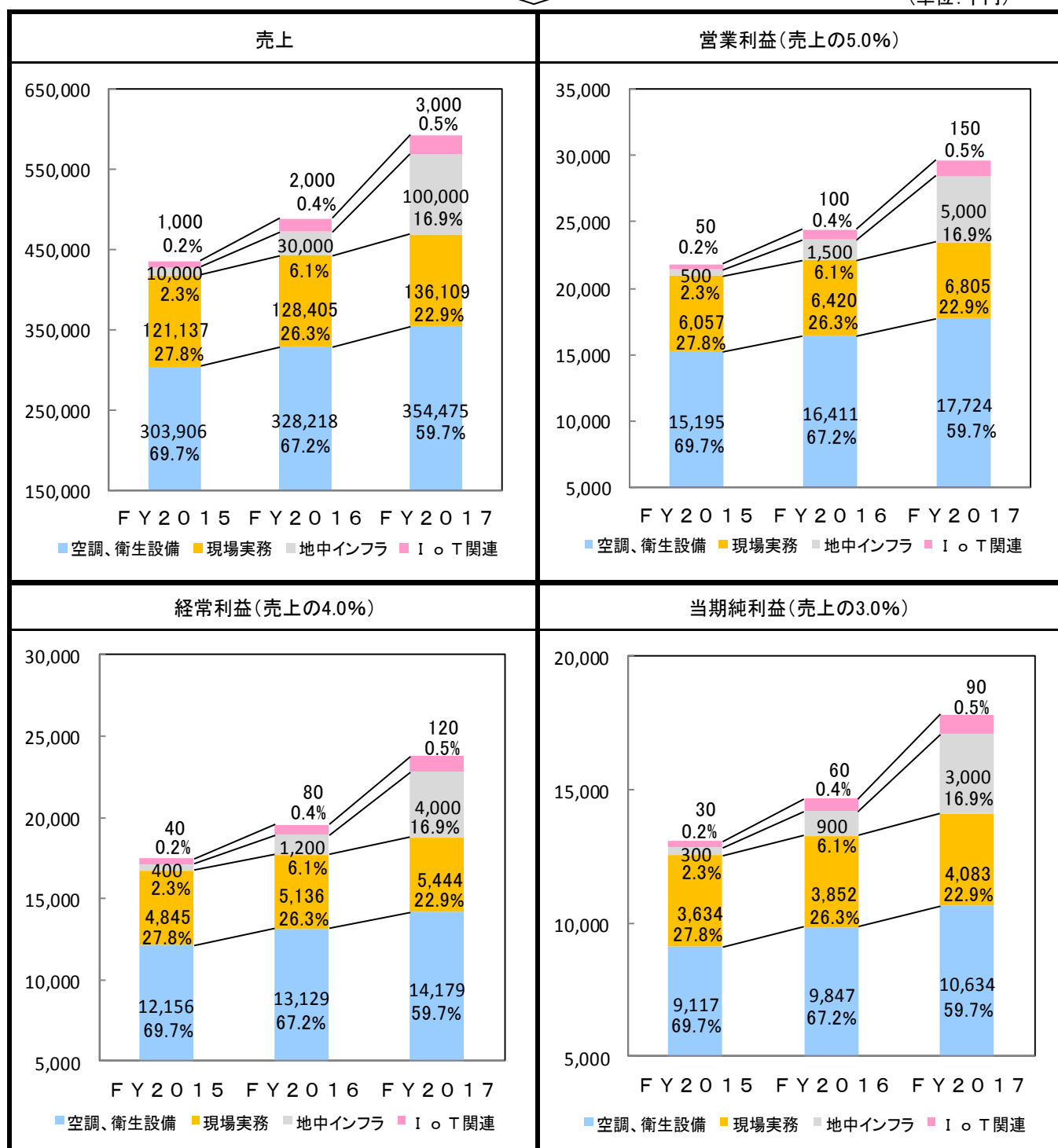
5. 1+2+3+4≒600,000千円(第32期 FY2017年予測)

(単位:千円)

項目	第30期 FY2015年 予測	割合 (%)	第31期 FY2016年 予測	割合 (%)	第32期 FY2017年 予測	割合 (%)
売上	436,043	100.0%	488,623	100.0%	593,584	100.0%
営業利益	21,802	5.0%	24,431	5.0%	29,679	5.0%
経常利益	17,441	4.0%	19,545	4.0%	23,743	4.0%
当期純利益	13,081	3.0%	14,659	3.0%	17,807	3.0%



(単位:千円)

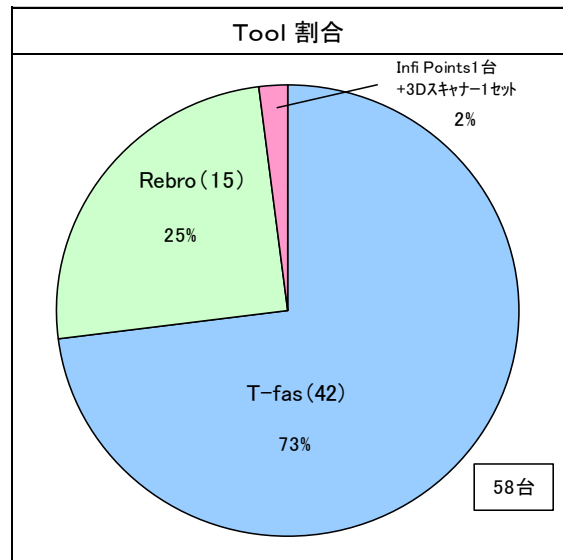
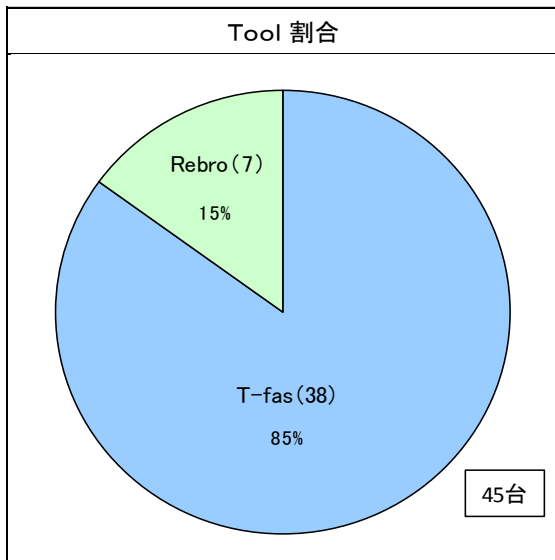
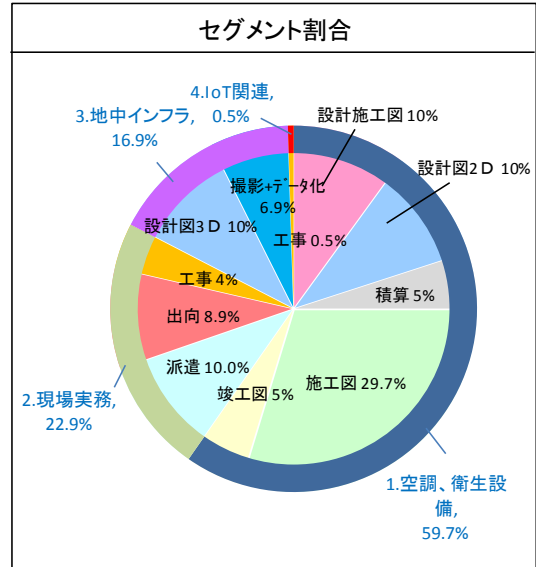
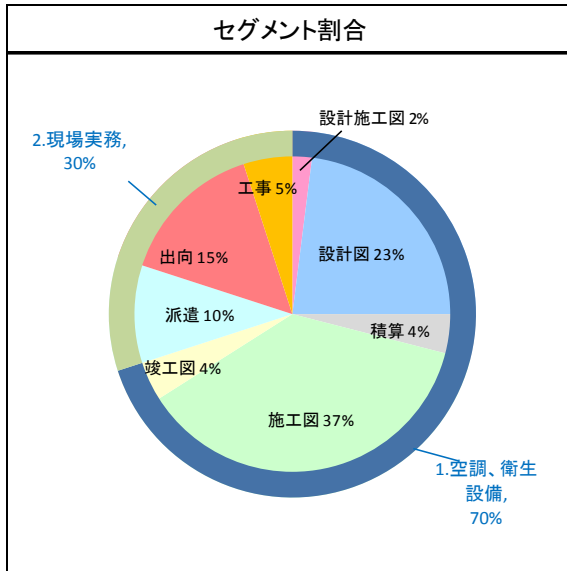


5. セグメント別施策

5-1. セグメント割合の到達目標

FY 2014

FY 2017



社員数

50名

社員数

63名(年8%増)

5-2. セグメント別の目標と達成戦略

セグメント	目 標	戦 略
設計施工図 (BIM) 3D	Rebro 入力者拡大	ゼネコン設計／設計事務所の顧客拡大
設計図 (2D)	BIM移行準備	計算屋との技術提携
撮 影 (点群＋データ化)	既存建屋データ収集拡大	改修工事受注の拡大
施工図	品質向上	社員教育の充実
竣工図	受注拡大	サイクル受注の獲得
派遣・出向	規模の拡大	個人事業主の統合
工 事 (ラック)	情報収集拡大	アウトソーシングの拡大

6. 主要スケジュール

Time 項目	FY2015				FY2016				FY2017			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
事業計画	サブコン、ゼネコン協力				設計事務所業務協力				公的機関の業務			
	設備設計のBIM化				設備設計のBIM化 GIS業務準備				GIS業務スタート			
事業領域A	設備設計のBIM化				CADとCADの融合 CADと点群の融合				進化したBIM化			
	点群導入				BIM開発業務との連携模索				研究・開発			
事業領域B	BIMデータ化				地上GIS業者との連携模索				研究・開発			
	予算統制				予算統制				予算統制 会計基準採用			
企業統治	フローチャート				ショートレビュー検討				ソフト導入			

7. 次期事業計画に向けて

次世代に向けた新たな事業やビジネスモデルの変革・創出

地中 GIS の構築

- ・新設及び既設建造物の設備設計及び施工図のデータ化
- ・下水道事業団所有設備の一部レーザー計測及びデータ3次元CAD化(BIM化)
- ・地下鉄設備機械室のレーザー計測及びデータ3次元CAD化(BIM化)
- ・既設建造物の機械室のレーザー計測及びデータ3次元CAD化(BIM化)

地上 GIS の構築

他社作業

- A社
空間情報、デジタル画像処理を利用した点検、診断技術の開発、構造物等の社会資本の維持管理
- B社
インフラ老朽化を見据えポイントクラウド解析を活用したインフラマネジメントの高度化、効率化
- C社
トンネル保守管理システム-レーザーを使用した断面変位の観測
- D社
IoT関連機器の製造

